



大平喜代江

地域包括ケアに向けた 地域支援事業の充実

問 在宅医療・介護の連携強化について問う。

答 地域包括ケアの推進には、切れ目のない医療・介護サービスの提供や地域資源の活用が求められる。そのためには、地域ケア会議や協議体の設置、生活支援コーディネーターの配置等により、日ごろから顔の見える関係づくりを築くことやケア会議を開催を中止している。



地域ケア会議とは
地域ケア会議は、医療介護等の多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、個別ケースの検討を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化し、その解決に必要な資源開発や地域づくり、さらには介護保険事業計画への反映などの政策形成につなげるものである。地域ケア会議は、地域包括ケアシステムの実現に向けた重要なツールと位置づけられている。

地域包括ケアの推進には、切れ目のない医療・介護サービスの提供や地域資源の活用が求められる。そのためには、地域ケア会議や協議体の設置、生活支援コーディネーターの配置等により、日ごろから顔の見える関

係づくりを築くことやケア会議を開催すべく、一旦会議を中止している。

問 本町の地域ケア会議の開催について問う。

答 平成26年度まで地域ケア会議は、介護サービス事業者のみで定期的に開催してきた。地域ケア会議は、平成27年4月に法律に明記されたことから、国の示す地域ケア会議を開催すべく、一旦会議の開催を中止している。



新町長がめざす
今後の町政運営について
に進めるかを問う。

問 選挙公約の実現に向けての取組み、まちを活性化するためのやる気度、意気込みを問う。

答 まずは、ダイオキシンの汚染物の仮置きの延長に着手するとともに、真相の解明と問題解決に全力で取り組む。

問 基本政策に挙げている「明日へつなげる4つのアクション」の実行に向けての優先順位を問う。



問 地域担当職員制度の実施について、どのように実施していくかを問う。

答 12月の区長会から運用を開始した。担当する職員が地域と行政のかけ橋となり、地域の課題を共有し、十分配慮しながら進めていきたい。

問 小中学校跡地の有効活用及び今後の公共施設のあり方について基本的な考え方を問う。

答 施設の老朽化等の状況を踏まえると、集約化や複合化は避けられない状況であると認識している。

問 地域担当職員制度の導入や子ども医療費助成の拡充、けやきの里周辺整備に向けた関係団体との協議に着手したところである。

地域と行政との 協働のまちづくりの実現を!!



長尾 義信

冬期における通学等の安全確保対策について

問 徒歩、自転車通学で、積雪により道路や歩道の路面が凍結して滑り、転倒しやすくなったりする恐れがある。児童生徒の上下校時の安全確保について問う。

答 登下校時の交通安全指導を継続している。

問 登下校時の交通安全指導を継続している。

答 特に冬場の安全指導、危険個所の点検の徹底を図っている。通学路安全推進会議で凍結防止剤の早期散布の依頼も行つた。